年間授業計画 様式例

高等学校 令和5年度(1学年用) 教科 国語 科目 現代の国語

教 科: 国語 科 目: 現代の国語 単位数: 2 単位

対象学年組:第 1 学年 A 組~ H 組

教科担当者: (ACG組:渡辺) (BD組:田所) (EFH組:松平)

使用教科書: (東京書籍「現代の国語」)

教科 国語 の目標:

【知識及び技能】社会生活に必要な知識・技能を身に付け、国語に対する理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】論理的思考力を鍛え、豊かな想像力を育み、他者と互いに考えを伝え合う力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】幅広い読書を通して自己を向上させ、言葉を通して社会との関わりを深める。

科目 現代の国語 の目標:

【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生
かできる。	言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度 を養う。
è	に考える力や深く共感したり豊かに想像した 力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う め、自分の思いや考えを広げたり深めたりす

	単元の具体的な指導目標 指導項目・内容 書 読. 図 書 読.	=亚体 担 淮	4п	思	能	配当				
			話・関	書	読	評価規準			, EX	時数
	A 「水の東西」 【知識及び技能】主張と論拠など情報と情報 との関係について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 話り強く比較を通じて「東西」の文化の差異 への理解を深め、今までの学習を生かして自 分の興味や関心を他者に伝えさせる。	・指導事項 日本と西洋の対比を通して、日本人 の感性と日本の文化の特質をつか む。 ・教材「水の東西」 ・一人1台端末の活用 等	0			知識及び技能] 主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 【学びに向かう力、人間性等] おり強く比較を通じて「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。	0	0	0	6
	B 「技術が道徳を代行するとき」 【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使わせる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握させる。	・指導事項 環境問題を例に、科学技術と倫理・ 道徳の在り方について考える。 ・教材「技術が道徳を代行すると き」 ・一人1台端末の活用 等	0			【知識及び技能】 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の 中で使っている。 【思考力、判断力、表現力】 『読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨 や要点を把握している。	0	0	0	5
1	定期考査						0	0		1
学期		 ・指導事項 身近な具体例によって、言葉が伝わるためにはどういう努力が必要か考える。 ・教材「身銭を切るコミュニケーション」 ・一人1台端末の活用等 	0			【知識及び技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解して いる。 【学びに向かう力、人間性等】 貼り強く筆者が事例で挙げたコミュニケーションについて 理解し、今までの学習を生かしてメタ・コミュニケーショ ンの在り方について考えを深めようとしている。	0	0	0	6
	D 「解釈」 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の 仕方について理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえ て、内容や構成、論理の展開などについて叙 述を基に的嬢に捉え、要旨や要点を把握させ る。	・指導事項 解釈することが創造であるという視 点から、「読む」ことの意味を再考 する。 ・教材「解釈」 ・一人1台端末の活用 等	0			【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について 理解している。 【思考力、判断力、表現力】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨 や要点を把握している。	0	0	0	5
	定期考査						0	0		1
	B 1時間と自由の関係について」 「知識及び技能」 次、語、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解させる。 「思考力、判断力、表現力等」 「認ちこと」において、目的に応じて、文章や図表な とに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容 や書き手の意図を解れて、り、文章の構成や論理の展 順次とについて評価したりするとともに、自分の考え を深めさせる。	・指導事項 二項対立の図式にのっとり、具体的 な事例から時間に関して考察する。 ・教材「時間と自由の関係につい て」 ・一人1台端末の活用 等		0		【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について 理解している。 【思考力、判断力、表現力】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに 含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手 の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについ て評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	0	0	0	6
	F 「映像文化の変貌」 【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の 仕方について理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者が述べる「イメージ」に慣れす ぎることの危険性についての内容理解を深 め、学習黒曜に沿って、映像文化の変貌につ いて本文に即してまとめさせる。	・指導事項 複製技術によって「アウラ」の消失 した映像の氾濫する現代の文化の問 題点に気付く。 ・教材「映像文化の変貌」 ・一人1台端末の活用 等		0		【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について 理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く筆者が述べる「イメージ」に慣れすぎることの危 験性についての内容理解を深め、学習課題に沿って、映像 文化の変貌について本文に即してまとめようとしている。	0	0	0	7
	定期考査						0	0		1
学期		・指導事項 「自立」という言葉を、一般的な意味とは違った視点で定義し直すことで、人間がこの世界に生きるということの基本的な意味を明らかにする。 ・教材「真の自立とは」・一人1台端末の活用		0		【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について 理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理 解し、自分の考えを深め、今までの学習を生かして「自 立」という観点から他者と話し合いをしたうえで、自分の 考えをまとめようとしている。	0	0	0	6
	日「人工知能はなぜ橋子に座れないのか」 【知識及び技能】 文、語、文章の組み立て方や接続の仕方について理解 させる。 【思参力、判断力、表現力等】 「誰たこと」において、目的に応じて、文章や図表な とに含まれている情報を相互に関連付けながら、内容 や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や離理の展 開などについて評価したりするとともに、自分の考え を深めさせる。			0		【知識及び技能】 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 (思考力、判断力、表現力] 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。	0	0	0	7

	定期考査				0	0		1
	I 「学ぶことと人間の知恵」 【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要 な語句の量を増やすとともに、語句や部盤の構造や感 を、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中 で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにさせ る。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に筆者の意図する「コンピューター」と「人 順」の違いについて理解を深め、学習悪態に沿って内 容を整理し、自分の意見を持って話し合わせる。	ぶ。 ・教材「学ぶことと人間の知恵」 ・一人 1 台端末の活用 等	0	【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語 句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法 及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを 適して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【学びに向かう力、人間性等】 様極的に筆者の意図する「コンピューター」と「人間」の 違いについて理解を深め、学習課題に沿って内容を整理 し、自分の意見を持って話し合おうとしている。	0	0	0	9
3 学期	I (私)時代のデモクラシー」 打破歳及びは海 東社会において開発したり表現したりするために必要な語句の 東社会において開発したの表現したりするために必要な語句の を告挙すたともに、語句い語彙の呼で使うことを適して、語感 化者の記をかたことせる。 【学びに向かう力、人間では、 は一般的に集かっなる。(私の時代)について開料し、学習課題 につて、「分の考えをことか、他者と話し合わせる。	・指導事項 〈私〉が時代の焦点となった現代を「〈 私か時代)と規定し、そういう時代の中で「〈私たち〉」を形成することの難しさについて考える。 ・教析「〈私〉時代のデモクラシー」・一人1台端末の活用 等	0	【知識及び技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語 句の量を増やすとともに、語句や語彙の構造や特色、用法 及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを 適して、語感を僭き部彙を豊かにしている。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に筆者の考える「私か時代」について理解し、学習 課題に沿って「デモクラシー」の本義と現代の「デモクラ シー」を比較し、自分の考えをまとめ、他者と話し合おう としている。	0	0	0	8
	定期考査				0	0		1
								合計
								70